

## 汗 試 験 機

Section . 27

Cat . No . CF - 5

= 適応規格 = J I S L 0 8 4 6、L 0 8 4 7、L 0 8 4 8、L 0 8 5 4

= 用 途 = 本機はJ I S L 0 8 4 6 (水に対する染色堅ろう度試験) L 0 8 4 7 (海水に対する染色堅ろう度試験) L 0 8 4 8 (汗に対する染色堅ろう度試験) L 0 8 5 4 (昇華に対する染色堅ろう度試験) に準拠する試験機です。

= 判定方法 = 本機は複合試験片を規定の方法・条件に基づいて人工汗液又は塩化ナトリウム溶液・水などで処理し、乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は、汚染用グレースケールと比較してその堅牢度を判定します。

= 構 造 = この汗試験機は、試験片又は複合試験片を数個、硬質プラスチック板で交互に互いにはずれない様にはさみ、水平又は垂直位置に保った試験片に50Nの圧力で加圧し、試験操作中、規定温度の乾燥中に保つことが出来るものです。

= 仕 様 = 加 圧 方 式 : おもり加圧方式  
圧 力 : 45N及び50N  
試験片保持板 : 硬質プラスチック板 115×63mm 厚み2mm 21枚付属  
但し、J I S L 0 8 5 4 に於いてはステンレス鋼製板を使用のこと。  
保 持 部 分 : おもりを取除いてもストッパーにより規定圧力状態が保持され、水平又は垂直位置いずれも固定することが出来る。  
材 質 : ステンレス SUS - 304 使用 (耐薬品性材質)  
占 有 空 間 : 水平位置 約210W×90D×150Hmm  
正 味 重 量 : 約7kg



試験片保持板のステンレス鋼製板は、特別付属品となっております。

\* 改良の為、仕様・概観は予告なく変更する場合があります。